

障害者の生涯学習についてのアンケート結果

対象：障害者団体、障害者を対象とした講座参加者

期間：2020年10月～11月

有効回答率：100%（有効回答者数：30名）

<生涯学習について>

Q1 今後、どのような生涯学習をしたいと思いますか。（複数回答可）

歴史・文化・外国語などの学習	16
政治・経済・環境などの学習	6
生け花・茶道・園芸・読書など	8
芸術鑑賞	6
ウォーキングなどのスポーツ活動	11
仕事に役立てるための学習や資格・技能取得のための学習	5
パソコンやインターネットの活用など、新しい技術や知識に関する学習	7
よみかき、日本語など基礎的な知識を得るための学習	7
料理や洋裁、育児など基礎的な知識を得るための学習	5
社会貢献活動、ボランティア活動	2
その他	4
特になし	2

※その他：阪神間の今昔、施設・工場見学、料理コンテスト、音楽療法、アート活動等

Q2 生涯学習をどのような場所や形態で学びたいと思いますか。（複数回答可）

公民館や市民館など公的機関における講座	17
カルチャーセンターなど民間の講座	8
学校（高校、大学、大学院、専門学校など）の講座	5
職場の教育、研修	2
同好者が自主的に行っている集まり・サークル活動	7
図書館・博物館・美術館	6
障害福祉サービス事業所等の講座	8
テレビやラジオ	3
インターネット	1
自宅での学習活動（書籍など）	1
その他	2

※その他：内容にあった会場、障害者団体主催の活動等

Q3 生涯学習活動に参加する上で、どのような支援があるとよいと思われますか。

または、他に意見などがございましたら、ご自由にお書きください。

- 参加者がいつも限定で、大勢参加は望めません。
- 聴覚障害なので、情報保障のための人材（通訳者・要約者）がいるとホッとします。そのため、人材を豊かにしてほしい。
- 市主催の子供体験コーナーがあるが、障害者にも入れるようにしてほしい。
- 通訳付、字幕付映像は、一般の講座にはそういう配慮がないので、参加したくても参加できなかった。参加しても話の内容が分からないままが多かったので、教養が身についていない、つけられない、機会がなかった。
- 手話通訳がつくとありがたい。カルチャーセンターなど、民間の講座を受けたくても手話通訳が派遣できる範囲でないのが残念。
- いつも楽しんでます。要約筆記がつくので理解ができる。
- それぞれの個人と向かい合っただけのサポートと、それに伴う資金の充実があるとよい。
- 地域の人との幅広い交流があるとよい。
- 障害のある人のことを良く理解しておられる方が指導して下さる、またはそういう方（団体）等の主催の活動であれば安心して参加できる。ヘルパーや家族との参加が可能であること、本人のみが参加する場合でも、ボランティアの方がいてくださって見守ってもらえると参加しやすい。

Q4 他に意見などがございましたら、ご自由にお書きください。

- 障害のある人もそれぞれ興味のあること、その人に向いていることが違っている。いろいろな場や機会があれば、その人が生涯打ち込める何かに出会うことができる。趣味と言える何かが見つかれば、それを極め、仕事につながる場合もある。アート、音楽などの芸術やスポーツで優れた採用を开花している人も少なくない。障害があっても、いろいろなことに挑戦できる機会や場を是非作って欲しい。